

sync.dev、AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3000 シリーズプロセッサへのアップグレードで映像編集を新たな高みへ

高性能環境でリアルタイム CG 制作を最適化

AMD
THREADRIPPER
PRO

パートナー

Sync

業界

テレビのコマーシャルや番組の映像編集および映像エフェクトの研究開発

課題

ハイスペック映像に対する絶え間ない業界需要に対応し、試行錯誤が不可欠な研究開発の作業環境を改善する。

解決策

AMD Ryzen™ Threadripper™ 2000 シリーズプロセッサから
AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3000 シリーズプロセッサにアップグレード。

結果

映像の処理速度が大幅に向上して、編集により多くの時間をかけられるようになり、その結果、映像の品質が向上。加えて、研究開発の試行錯誤も可能となり、プロジェクトの品質が大幅に向上。

AMD テクノロジ概要

AMD Ryzen™ Threadripper™ 2990WX CPU
AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO
3995WX CPU

岡田太一氏が設立した sync.dev は、グローバル企業のテレビコマーシャルの映像編集に特化した企業です。

東京の南麻布に拠点を構える sync.dev は、日本市場でのハイプロファイル映像の開発で有名です。岡田太一代表は、テクニカルディレクター/映画編集者および CGI ジェネラリストの経験を経て、2012 年に STUD を設立。2019 年に、バーチャルプロダクションおよび研究開発サービスに重点を置いた研究開発チーム sync.dev を立ち上げました。

sync.dev では、最高品質の映像制作のためにインカメラ VFX を使用しています。これはバーチャルプロダクション手法であり、3DCG 映像を投影する LED ウォールを背景にライブアクションを撮影しながら、リアルタイムで映像を処理します。

「インカメラ VFX は、映画、テレビドラマ、スポーツイベントのライブストリーミングに使われていますが、宇宙を舞台にした世界的に有名な映画のスパインアウトドラマで使用され、話題になりました」と岡田氏は述べています。世界市場で高品質の映像解像度への需要が高まる中、インカメラ VFX はいっそう注目を集めています。

岡田氏は次のように語ります。「ライブアクションの撮影中に映像を

「AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3000 シリーズプロセッサにアップグレードしたことで、レンダリング速度が向上し、プロジェクトの品質改善のためにテストや修正を繰り返すことができる時間が増えました」

sync.dev、代表、
岡田太一氏

リアルタイムで処理するので、インカメラ VFX には最高クラスのパフォーマンスを提供してくれるシステムが必須です。撮影中にリアルタイムで処理するには、使用する PC の仕様が超ハイエンドでなくてはなりません。私たちが制作する 3DCG 映像には、

非常に高いリアリティが求められます。

sync.dev は研究開発としてバーチャルプロダクションに取り組んでいることから、PC の仕様が不十分という理由で、求めている表現方法やコンテンツを諦めたくはありません」

岡田氏はこの考えから、最高クラスの CPU、メモリ、PCIe®、SSD を搭載し、費用対効果が非常に優れた超高速仕様のマシンを求めています。

AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU の採用により、映像処理の時間が大幅に短縮されました。

最高品質の映像を編集および制作するために、sync.dev は AMD Ryzen™ Threadripper™ 2990WX CPU を使用していましたが、先ごろ AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU にアップグレードしました。「自作できるところが気に入っています。AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU は、コア数や PCIe® レーン数などで同じカテゴリのほかの製品よりも圧倒的に優れています」と岡田氏は言います。

「バーチャルプロダクションなどの最先端の手法を用いる場合、これまではインテル® Xeon® プロセッサを搭載した限られた製品しか選択肢がありませんでした」と岡田氏は続けます。「sync.dev で AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU を Xeon W-3375 と比較した結果、コア数、PCIe® レーン数、その他のパフォーマンス機能の面で優れているうえ、価格はインテル製品の半分にも満たないことがわかりました。AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX プロセッサはシングルソケットなので、デュアルの場合と比べて問題の発生リスクを低減できます」

今回のアップグレードの動機は、より高性能の編集環境の必要性和、定期アップグレードとしての最新製品の導入です。岡田氏によれば、このアップグレードは編集作業に大きな影響を与えました。

岡田氏は次のように続けます。「AMD Ryzen™ Threadripper™ 2990WX CPU と比較して、AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU ではコア数が 2 倍となり、V-Ray と Blender のオフラインレンダリング速度が 2 倍に向上しました。さらに、Unity や Unreal Engine などのゲームエンジンを含め、複数のソフトウェアを同時に実行させても、システムは安定しています。」

「AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU のパフォーマンスは、ほかの製品よりも圧倒的に優れています… 作業時間を 50% 短縮できました!」

sync.dev、代表、
岡田太一氏

その上、PCIe® レーン数も増えたので、制限を気にせず柔軟に拡張カードを追加できるようになりました」

加えて、AMD Ryzen™ Threadripper™ 2000 シリーズプロセッサは、RAID カードの X16 レーンの半分しか提供できませんが、AMD Ryzen™ Threadripper™ 3000 シリーズプロセッサは、X16 レーンを制限なしにフル活用します。これにより、ストレージのデータ転送速度が向上し、ネットワークインターフェイスカードが 10 G を超える速度でほかのマシンにデータを転送できるため、作業時間が 50% 短縮されました。その結果、映像編集の処理速度が向上し、研究開発における試行錯誤のプロセスの増加やプロジェクト品質の向上など、さまざまなメリットがもたらされました。

最後に岡田氏は、「CPU だけでなく、プラットフォームの仕様も最先端であることが重要です」と述べています。高性能製品の導入により編集環境がさらに洗練され、sync.dev は AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 3995WX CPU のおかげで今後さらに素晴らしい映像を制作できると確信しています。



sync.dev について

2012 年に東京都港区に岡田太一氏が設立した sync.dev は、コマースのオフラインおよびオンライン編集を主な事業とするポストプロダクション企業であり、Adobe CC、DaVinci Resolve、Autodesk Flame などの編集ソフトを導入しています。2019 年、岡田氏は研究開発活動のブランディングの一環として sync.dev 研究開発チームを設立しました。以来、映像制作だけでなく、バーチャルプロダクション関連の制作や Unity/UE4 を使用したリアルタイム CG プロジェクトなどをメインに、研究開発にも注力しています。

[STUD Co., Ltd.](#) | [sync.dev](#)

AMD について

AMD は 50 年以上にわたり、ハイパフォーマンスコンピューティング、グラフィックス、視覚化技術の革新を推進してきました。世界中の何十億もの人々、フォーチュン 500 のトップ企業、最先端の科学研究機関は、生活、仕事、遊びを向上させるために、日常的に AMD のテクノロジーを活用しています。AMD の従業員は、ハイパフォーマンスで適応性に優れたプロダクトの開発に日々取り組み、限界に挑戦しています。AMD は現在を見据えながら、未来を形成しています。詳細については、AMD (NASDAQ: AMD) [ウェブサイト](#)、[ブログ](#)、[LinkedIn](#)、および [X](#) ページをご覧ください。

[AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO CPU](#)

©2025 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD、AMD Arrow ロゴ、Ryzen、Threadripper、およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。PCIe は、PCI-SIG Corporation の登録商標です。本ドキュメントに使用されているその他の製品名は情報提供のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。

AMD Ryzen および Athlon プロセッサの最大ブーストとは、負荷の高いシングルスレッドワークロードを実行しているプロセッサの単一のコアで達成可能な最高周波数を指しています。最大ブーストはいくつかの要因によって異なります。この要因には、サーマルペースト、システムの冷却、マザーボードの設計と BIOS、最新の AMD チップセットドライバー、最新の OS 更新が含まれますが、これらに限定されるものではありません。GD-150。

すべてのパフォーマンスとコスト削減効果の記載は sync.dev により提供されたものであり、AMD が独自に検証したものではありません。パフォーマンスやコストの優位性は、さまざまな要因の影響を受けます。ここに示された結果は sync.dev 独自のものであり、一般的ではない可能性があります。GD-181